

レター

～板橋区コミュニティ・スクール(iCS) 地域とともにある学校をめざして～

発行元:教育委員会事務局 地域教育力推進課 地域連携係 TEL3579-2619

iCSレター第3号では、蓮根小学校CS委員会の取組を紹介します。同校第2回CS委員会では「教職員との熟議」、第3回CS委員会では「6年生との熟議」を行いました。

教職員との熟議

第2回CS委員会では、アドバイザー派遣を利用し、井上 尚子氏(文科省CSマイスター、東京都CSアドバイザー)にファシリテーターを務めていただきながら「考えよう!みんなでつくるワクワクする学校」をテーマに教職員との熟議を行いました。



どんな流れで熟議を進めていこうかな?

熟議の進め方

①アイスブレイク



②個人ワーク

ワクワクする学校ってどんな学校?
個人ごとにフセンに意見を記入



③共有

模造紙にフセンを貼りながら意見を共有
似た意見をグループ分け



④まとめ

ワクワクする学校の実現のために
それぞれの立場で何ができるか考える



蓮根小学校芦谷校長先生が考える、教職員と熟議する目的と効果について

- ・CS委員に学校の取組を知ってもらう機会になる。
- ・教職員にとってはCS委員を身近に感じられる。

熟議の約束

- ・人の意見を否定せず、自分ならこう考えるという発言をする。
- ・それぞれの意見をうなずきながら笑顔で聞く。
- ・みんなが話せるように、一人が長く話しすぎない。

熟議の最後には、、、

「ワクワクする学校!」これからの蓮根小学校のために

私は

をして(心がけて)いきます!

「子どもたちがワクワクするかどうかを念頭に熟議をする。」といった目標がCS委員から示されるなど、熟議を通して各々の立場から学校のためにできることを見つけられました。

各々の立場から
目標を書き共有
します



フセンで話の見える化を!

- ・フセン1枚につき1つの意見を書く
- ・模造紙に貼りながら自分の考えを話す
- ・何度も貼り直しながら似た意見でグループ分けする。



フセンの活用により、
発言が苦手な人も積極的に
意見が出せます

6年生児童との熟議

～事前準備～

Step 1

全校児童への周知

全校朝会にて、校長からCS委員の役割や、6年生がCS委員と熟議することについて説明。

Step 3

参加者へのアプローチ

授業参観日にCS委員会を設定することで、地域コーディネーター・PTA・保護者の参加を促す。

Step 2

6年生へのアプローチ

6年生からフセンを使って熟議を行うことについて、様々な意見が！

- ・発言が苦手な子も意見を出せる。
- ・参加しているみんなの意見が知ることができる。
- ・模造紙にみんなの意見を書いたフセンを貼ったもの（完成した模造紙）を掲示して、他学年の児童にも見てもらいたい。



児童にとって、CS委員会の存在と取組を知る良い機会になります！

～熟議～「みんなでつくるワクワクする学校」



6年生を1グループにつき10名ずつ配置し、CS委員が中心となって熟議しました。児童はフセンに積極的に自分の意見を書いて共有し、CS委員は児童の意見を促したり、意見のグループ分けを行ったりしました。



蓮根小学校芦谷校長先生が考える児童と熟議をする目的と効果について

- ・CS委員が児童の想いを聞いて、どうすれば実現できるかを一緒に考える機会になる。
- ・児童にとっては、自分たちの学校を自分たちの力でより良くしていく気持ちを高めることができる。



友だち・仲良し
というキーワードが
たくさん出てきた。



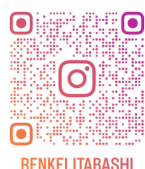
9月26日(金)にCS委員長協議会を開催しました。

当日の資料や映像をホームページに掲載しておりますのでぜひご覧ください。



Instagram

インスタグラムアカウントを開設しました！様々な情報を発信しますので、ぜひフォローをお待ちしています！



RENKEI.ITABASHI

アンケート

iCSレターについて、より良い紙面づくりのために簡単なアンケートにご協力ください！

